

「横浜の緑の保全・創造施策と財源確保に関する市民意識調査」 の結果について

個人

調査対象	実施方法	調査期間	回収数 (回収率)
満20歳以上の 市民1万人	住民基本台帳及び外国人登録原票から 無作為抽出し、郵送配付、郵便回収	8月18日～ 8月29日	2,871 人 (28.7 %)





法人

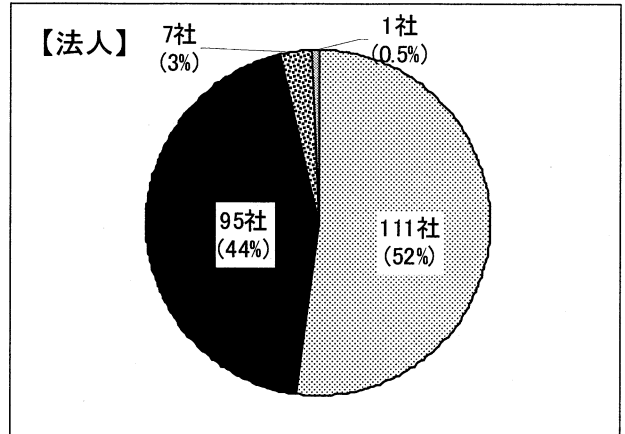
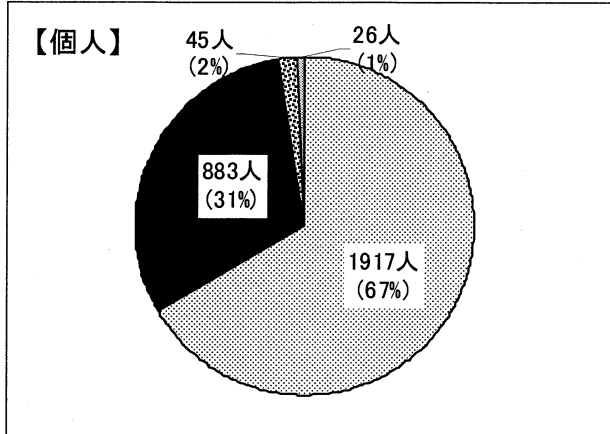
調査対象	実施方法	調査期間	回収数 (回収率)
横浜市内に事務所のあ る法人1千社	法人市民税課税台帳から無作為に抽出 し、郵送配付、郵便回収	8月18日～ 8月29日	214 社 (21.4 %)

問 1

横浜の緑が減少し続けています。このことについてどうすべきとお考えですか。

個人では、7割近い方が、法人では過半数が「重要課題として取り組むべき」と回答しています。






-  重要課題として取り組むべきだ
-  可能な範囲で対策に取組めばよい
-  減少はやむを得ないので、これまでの対応でよい
-  無回答

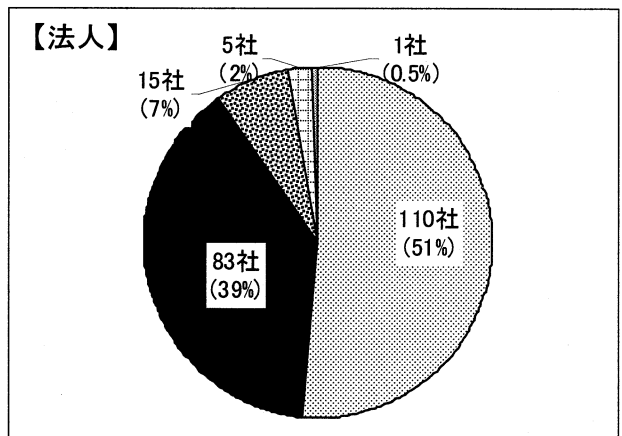
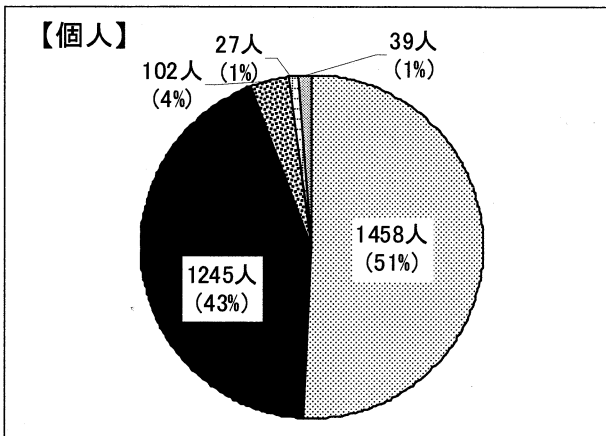


問 2

緑減少の原因・課題として「緑の多くは民有地に依存しており、土地所有者は日常の維持管理や相続などの負担が重く、維持していくことが困難になっている」としています。このことについてどうお考えですか。

個人・法人とも90%以上が「理解できる」、「ある程度理解できる」と回答しています。

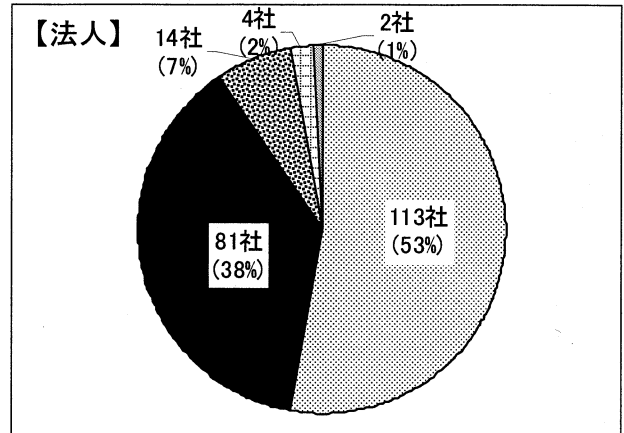
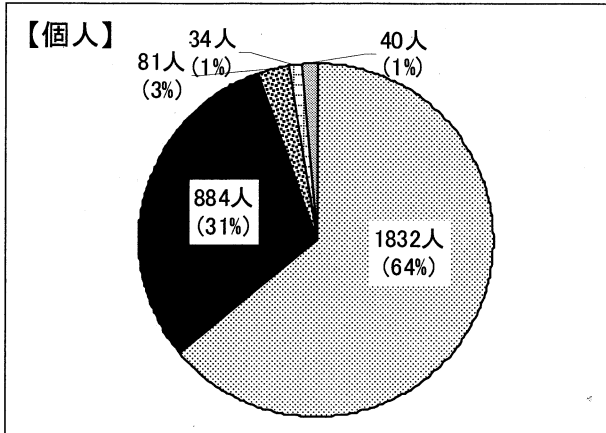
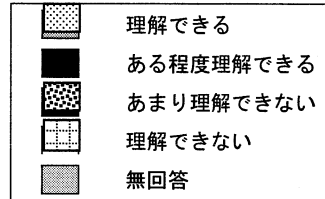
-  理解できる
-  ある程度理解できる
-  あまり理解できない
-  理解できない
-  無回答



問 3

土地所有者や市民の声等をもとに、横浜みどりアップ計画の素案をまとめました。これは、樹林地・農地・緑化の各施策により、質の成果として「大都市だけどふるさがある横浜」と「街なかに緑あふれる横浜」を、量の成果として「緑の総量（緑被率31%）を維持しつつ、長期的には向上」を目指すものです。この考え方についてどうお考えですか。

個人・法人とも90%以上が「理解できる」、「ある程度理解できる」と回答しています。



【自由記述】（主な意見）

個人

◆みどりアップ計画全体に関すること（88件）

- ・大都市の中に緑地が多いのは、環境的、社会的にも意義は大きいので、推進してもらいたい。
- ・緑のない街には永住したくない。
- ・「維持」よりも「向上」をメインに考えてほしい。失うのは簡単だが、増やすのは時間がかかるのだから、早めに対策をとるべき。
- ・国として大都市の問題（人口過密等）をとらえるようにもっと働きかけてほしい。

◆計画の目標に関すること（58件）

- ・今のままでは緑が少なすぎるので、緑被率31%ではなく、35%などもっと上にしてほしい。
- ・「大都市だけどふるさがある横浜」の意味が抽象的でわからない。
- ・大都市でありながら緑を増やしたいというのは矛盾していると思う。

◆個別施策（樹林地、農地、緑化）に関すること（34件）

- ・公園をもっと増やすべきである。
- ・土地、気候とあった雑木の里山と隣接する体験型の農地、ビオトープがあれば理想的。

◆開発に関すること（29件）

- ・開発事業者の乱開発にしっかり歯止めをかけるべき。
- ・金を出してまで守るべきではない。開発を進めるべきである。

◆その他（62件）

- ・土地所有者と話し合い、市で管理するようにしたらよい
- ・市民が中心になって実現できる計画が良い

法人

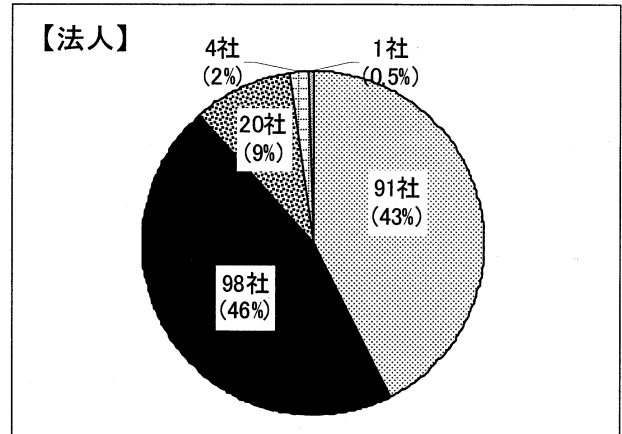
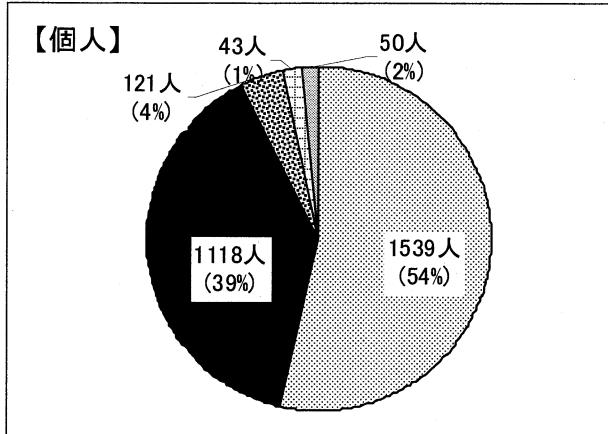
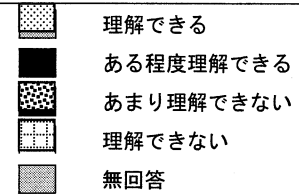
◆みどりアップ計画全体に関すること（8件）

- ・「維持」や「長期的な向上」ではなく、計画的に増やすべき。
- ・民有地に負担・規制するのではなく、国有地・市有地にてまずは実施すべき。

問 4

「樹林地を守る施策」について、樹林地の継続保有の促進といざという時の買取り、維持管理の推進、市民の利活用の促進などを提案しています。これについてどうお考えですか。

個人では約90%を超える方が、法人では90%弱が「理解できる」、「ある程度理解できる」と回答しています。



【自由記述】（主な意見）

個人

◆樹林地を守る施策全般に関すること（99件）

- ・市民に対してよいと思われる形で有効に使用してもらえれば望ましい。
- ・緑地の維持には、現在は行政側の配慮が必須だと考えているため、ぜひとも実現してほしい。
- ・他の自治体の土地を利用し、緑を増やしていけばよい。横浜には樹林地は必要ない。

◆継続保有の促進に関すること（13件）

- ・小規模樹林地は市民緑地制度等を導入すること等により有効活用してほしい。
- ・篤志の奨励制度の謝意を表す看板は不要。税金補助などで奨励すればよい。

◆維持管理の推進に関すること（53件）

- ・維持、管理は個人では難しいと思う。援助が必要。
- ・元気な高齢者に協力いただき、公園、樹林地の清掃などの管理を行う。

◆利活用促進に関すること（38件）

- ・利活用の促進から始めて、市民の理解を得ることが重要だと思う。
- ・利活用については、利用者の負担も考えてよいと思う。

◆確実な担保に関すること（43件）

- ・個人で土地を持ち続けるのは負担が大きいこともあるので、積極的に行政が買い取るべき。
- ・買取りはあまりに資金が必要となるのではないか。

◆その他（31件）

- ・市民への周知がもっと必要。
- ・マンションを増やしてほしい。許可基準を厳しくするべき。

法人

◆樹林地を守る施策全般に関すること（6件）

- ・手をつけやすい樹林地に重点を置くのではなく、街なかに重点を置く方がよい。

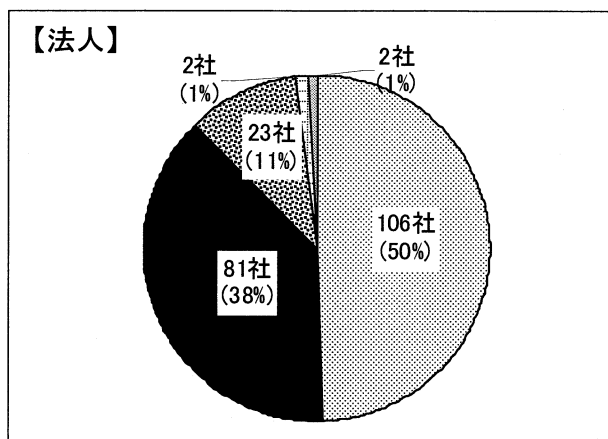
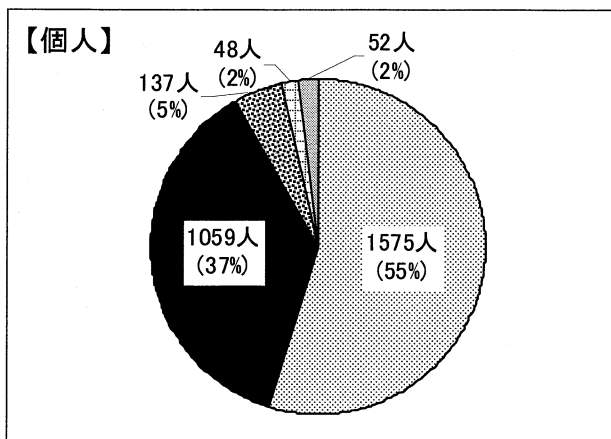
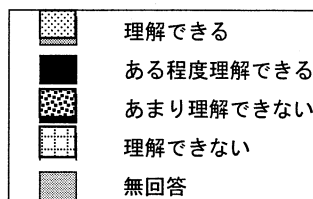
◆その他（6件）

- ・買取り額の適正化、運用の透明化が必要。

問 5

「農地を守る施策」について、農地の継続保有の促進といざという時の買取り、地産地消の推進、農地保全、担い手育成などを提案しています。これについてどうお考えですか。

個人では約90%を超える方が、法人では90%弱が「理解できる」、「ある程度理解できる」と回答しています。



【自由記述】(主な意見)

個人

◆農地を守る施策全体に関すること (97件)

- ・農業の生産性向上の観点から小規模で点在する農地所有の再整備等大きな政策が必要。
- ・小学生などに授業で農作業をする機会をぜひ設けてほしい。
- ・農業は横浜で推進する必要はない。地方に任せた方がよい。

◆継続保有の促進に関すること (12件)

- ・農地付きの公園というアイデアはとても素敵だと思うので、拡大するべき。

◆農業振興に関すること (69件)

○地産地消に関すること (42件)

- ・地産地消など生産者、消費者にとっても大切。品質面、コスト面で納得できる農産物が作れるよう市がバックアップすることは有意義だと思う。
- ・地元の野菜を安心して食べられるとよいが、なかなか手に入らない。

○その他 (27件)

- ・食の自給のため、行政が積極的に推進してほしい。

◆農地保全に関すること (31件)

- ・不法投棄のパトロールは民間や役所だけでなく、警察ももっと協力してほしい。

◆担い手の育成に関すること (60件)

- ・作農者や地元を結ぶネットワークを作った方がよいと思う。
- ・農地保全には農業の企業参入等も必要。

◆確実な担保に関すること (64件)

- ・農地に触れることに興味のある人は多いと思うので、農地の貸出等が増えるといいと思う。
- ・農地保全を推進するのであれば、買取り案はおかしいのでは。

法人

◆農地を守る施策全体に関すること (8件)

- ・農地を守る仕組みづくりになっていない。緑が減らない使い方に対し優遇するような仕組みが必要。

◆農業振興に関すること (6件)

- ・まずは農作物がたくさん売れる施設等を考えるべきでは。

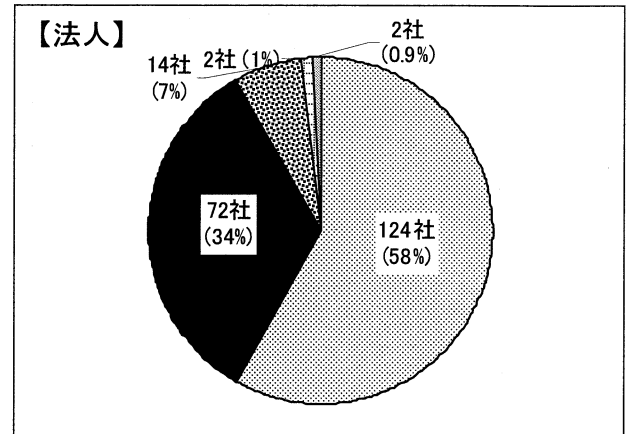
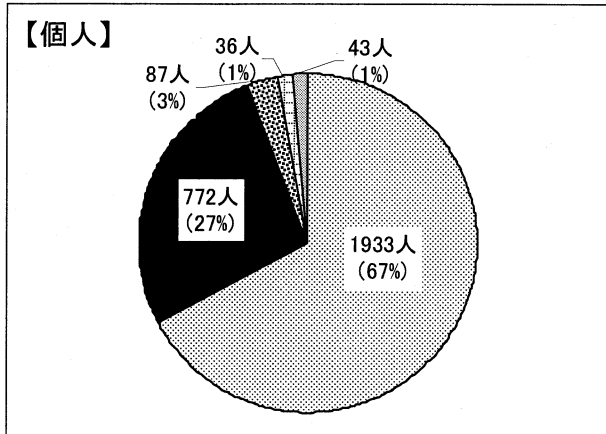
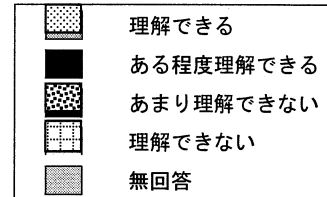
◆確実な担保に関すること (5件)

- ・国レベルにて、農業施策などで積極的に対策を打つべき。

問 6

「緑をつくる施策」について、地域ぐるみの緑化推進、学校等の校庭の芝生化、街路樹の魅力アップ、民有地の緑化推進などを提案しています。これについてどうお考えですか。

個人・法人の90%以上が「理解できる」、「ある程度理解できる」と回答しています。



【自由記述】(主な意見)

個人

◆緑化施策全体に関すること (101 件)

- ・横浜郊外ばかり緑化しても不十分であり、今後、横浜中心部の緑化に力を入れてほしい。
- ・日常生活で最も緑を実感できる内容と思うので、無理のない範囲で緑化が進めばよいと思う。

◆地域緑のまちづくりに関すること (34 件)

- ・自治会や学校等の単位で現地の緑を管理するルールなどを作れば緑も自然と増えると思う。

◆校庭の芝生化に関すること (94 件)

- ・校庭の芝生化は、青少年の育成にとってもプラスになる面が多いと思う。
- ・養生期間は遊べないと聞くので、全面芝生化には疑問だ。
- ・校庭の芝生化は、手入れが大変で、また、費用がかかる。

◆公共施設に関すること (24 件)

- ・市の施設から屋上緑化などあらゆるところに緑を取り入れ、緑の美しさを子供達に見せてほしい。

◆民有地の緑化に関すること (27 件)

- ・公共施設や個人だけでなく、ビル等を保有する法人へも積極的に緑化推進施策を展開するべき。

◆街路樹に関すること (46 件)

- ・一番身近に感じる施策なので、街路樹の管理等、街の緑を増やす施策を進めてほしい。
- ・街路樹の管理がなっていない。現在の維持を良くすることに力を入れてほしい。

◆その他 (42 件)

- ・宅地開発をする時点で、緑をつぶさず、維持したり増やすことを考えるべき。
- ・維持できることを条件にした方がよい。手入れに余計な予算がかかるのでは。

法人

◆緑化施策全体に関すること (12 件)

- ・既に市全体が住宅地になっているのだから、日常的に緑に触れている生活ができるように、緑化に重点を置くべき。

◆その他 (8 件)

- ・校庭等の芝生化を推進し、街路樹の魅力をアップするには、もっと維持管理をしっかり行い、常に良好な状態を保持していく必要がある。
- ・学校等でもっともっと緑についての教育が必要であると思う。

個人
問 7

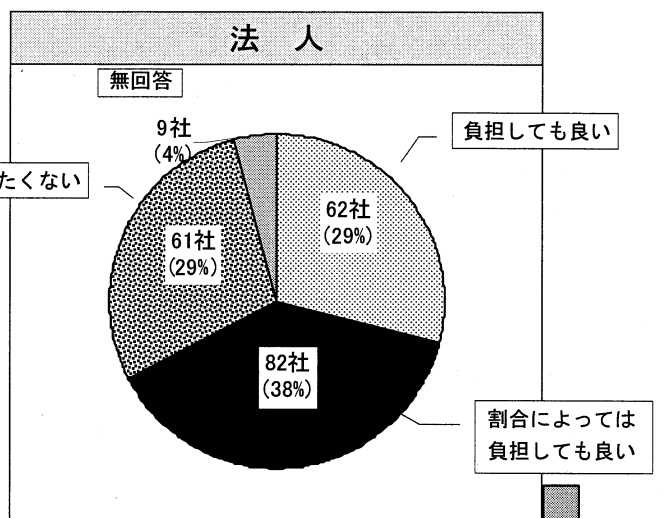
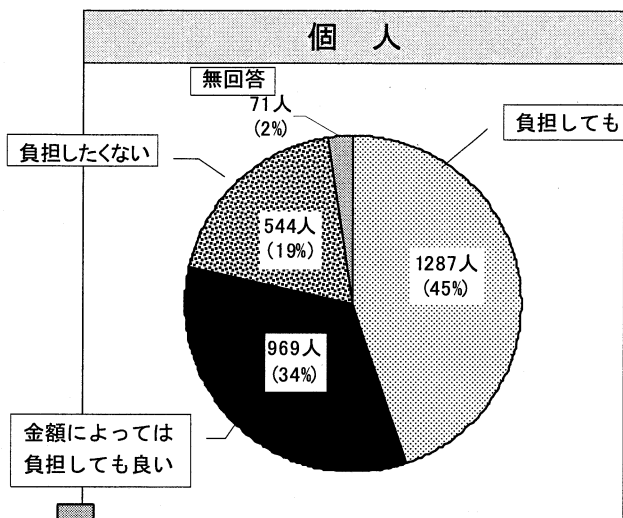
横浜みどりアップ計画の推進には、安定した新たな財源が必要であり、そのための一般財源として38億円/年を見込んでいます。これを仮に、全て、市民(個人・法人)の皆様へ新たな負担としてお願いする場合、個人では年間1,300円程度になると試算されます。この額を負担することについて、どのようにお考えですか。

法人
問 7

横浜みどりアップ計画の推進には、安定した新たな財源が必要であり、そのための一般財源として38億円/年を見込んでいます。これを仮に、全て、市民(個人・法人)の皆様へ新たな負担としてお願いする場合、法人では年間均等割額の13%程度(6,500円~390,000円：別紙をご覧ください)になると試算されます。この割合を負担することについて、どのようにお考えですか。

1,300円について「負担しても良い」が45%、また「金額によっては負担しても良い」34%、「負担したくない」19%となっています

均等割額の13%程度の負担について「負担しても良い」が29%、また「割合によっては負担しても良い」38%、「負担したくない」29%となっています

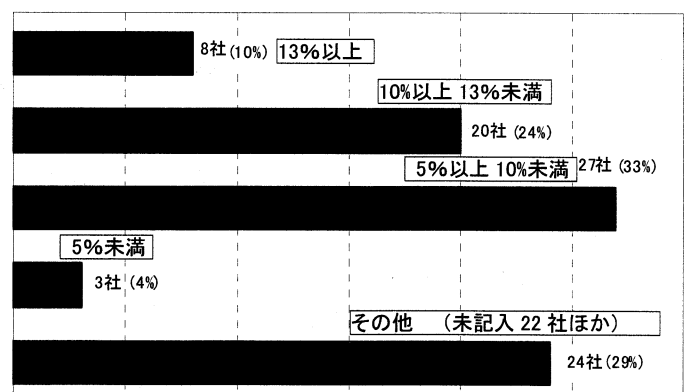
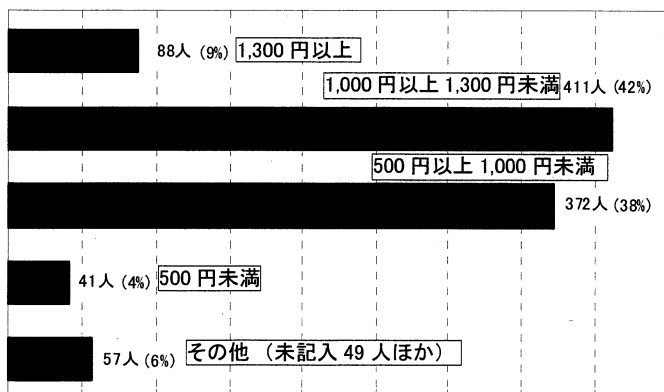


負担しても良いと思う金額

【個人】

負担しても良いと思う割合

【法人】



主な「負担したくない」理由

個人

「計画に意義が感じられないから」等の施策に反対の理由 (32件)、「財政努力で施策実行をして欲しい」「寄付により行って欲しい」等の財源確保策に関する理由 (320件)、「用途が不明であるため」等の用途に関する理由 (27件)、「年金生活で苦しいから」等の経済的理由 (140件)、未記入等 (25件)

法人

「税での追加負担を求めないで施策実行をして欲しい」等の財源確保策に関する理由 (39件)、「経営が不振であるため」等の経済的理由 (16件)、未記入等 (6件)

問 8

市民の皆様から費用負担をお願いする場合、横浜みどりアップ計画のうち、どのような取組みに優先して活用すべきと思いますか（複数回答可）

個人		
樹林地	1.継続保有の促進	1033人
	2.維持管理推進	1083人
	3.利活用促進	1029人
	4.確実な担保	864人
農地	5.継続保有の促進	915人
	6.農業振興	1006人
	7.農地保全	797人
	8.担い手育成	821人
	9.確実な担保	744人
緑化	10.緑化の推進	1562人

法人		
樹林地	1.継続保有の促進	80社
	2.維持管理推進	73社
	3.利活用促進	70社
	4.確実な担保	59社
農地	5.継続保有の促進	78社
	6.農業振興	70社
	7.農地保全	52社
	8.担い手育成	64社
	9.確実な担保	52社
緑化	10.緑化の推進	105社

個人

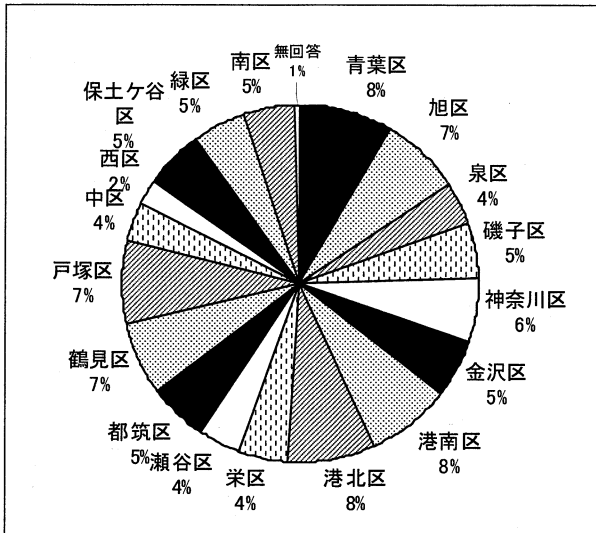
- ◆緑施策の推進に関する意見（302件）
 - ・ 緑豊かな町にして欲しい。
 - ・ 公園を多くして欲しい。
 - ・ 屋上緑化や個人宅の緑化を推進して欲しい。
 - ・ 校庭の芝生化をして欲しい。
- ◆緑の保全に関する規制などを望む意見（142件）
 - ・ マンション建設を規制して欲しい。
 - ・ 建設時の緑化の義務が必要である。
- ◆税負担以外の方策に関する意見（75件）
 - ・ 寄付制度を創設して行うべき。
 - ・ ボランティア等を活用すべき。
- ◆新たな税負担への賛同（6件）
 - ・ 緑の維持には税の負担も必要と考える。
- ◆新たな税負担への反対意見（203件）
 - ・ 施策には賛同するがすぐに市民負担を求めるべきではない。
 - ・ 年金生活であるため追加負担は困る。
 - ・ 無駄な支出の削減等による財源確保をすべき。
- ◆使途に関する意見（59件）
 - ・ 負担する場合、確実に緑施策に使って欲しい。
 - ・ 使途を市民に対して明確にして欲しい。
- ◆その他（246件）
 - ・ 市民への更なる周知や一人ひとりの意識改革が必要である。
 - ・ 子供への環境に関する教育を充実すべき。
 - ・ 緑の減少に対する不安
 - ・ 緑施策に直接つながらない意見など

法人

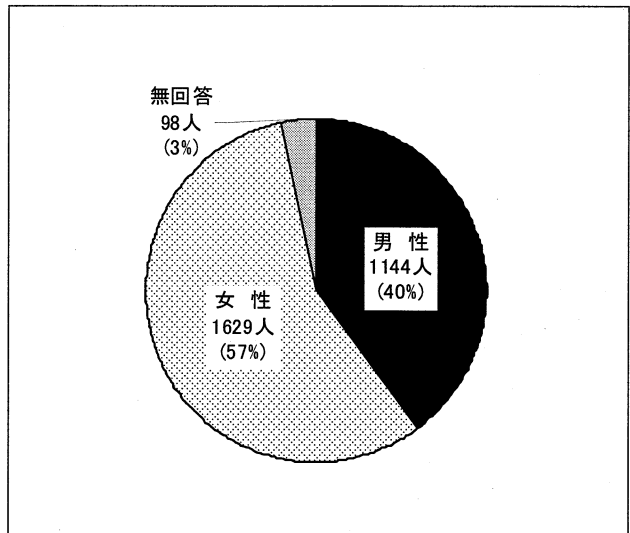
- ◆緑施策の推進に関する意見（24件）
 - ・ 緑化の推進が大切だと思う。
 - ・ 都市部の緑化が大切だと思う。
- ◆緑の保全に関する規制などを望む意見（8件）
 - ・ マンション建設を規制して欲しい。
 - ・ 建設時の緑化の義務が必要である。
- ◆税負担以外の方策に関する意見（13件）
 - ・ 募金制度により行うべき。
 - ・ 開発者などの原因者負担を求めるべきだ。
- ◆新たな税負担への反対意見（14件）
 - ・ 新たな税負担なしで行って欲しい。
 - ・ 経営が苦しいのでやめてほしい。
- ◆その他（5件）
 - ・ 周知が不足している。
 - ・ 緑施策に直接つながらない意見など

個人

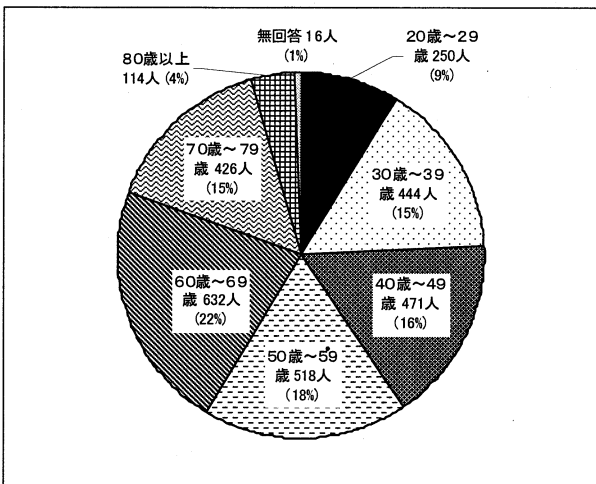
問 10 あなたは現在どちらにお住まいですか



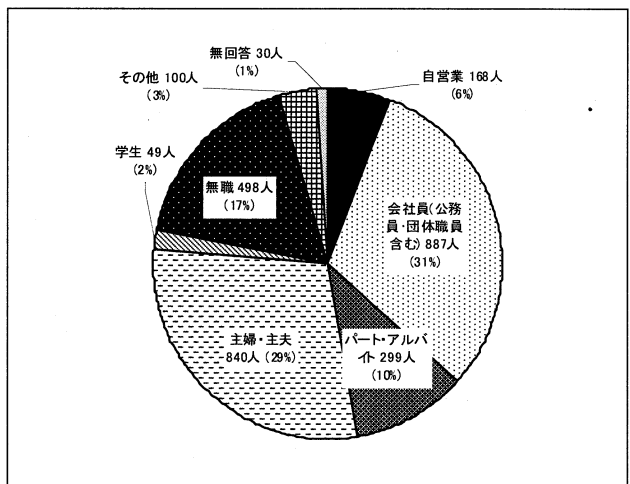
問 11 あなたの性別は？



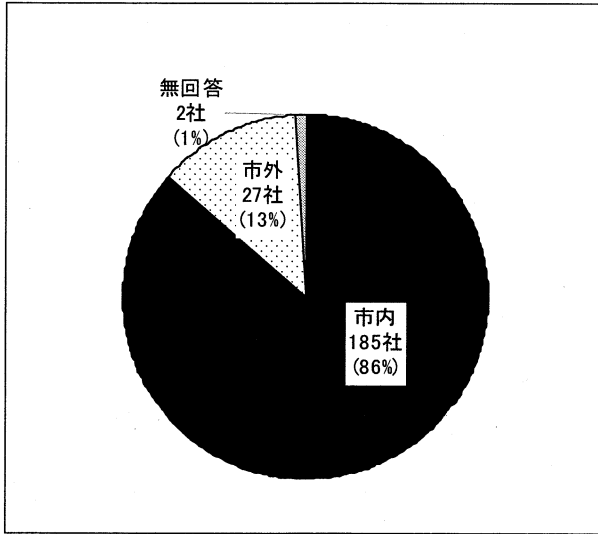
問 12 あなたの年齢はおいくつですか



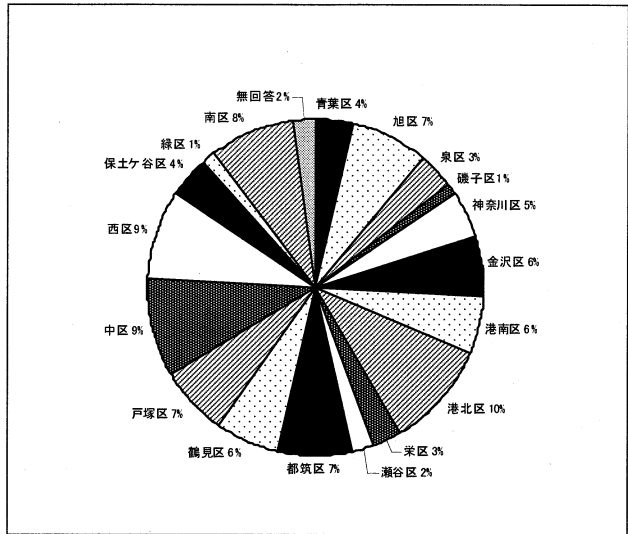
問 13 あなたのご職業は何ですか



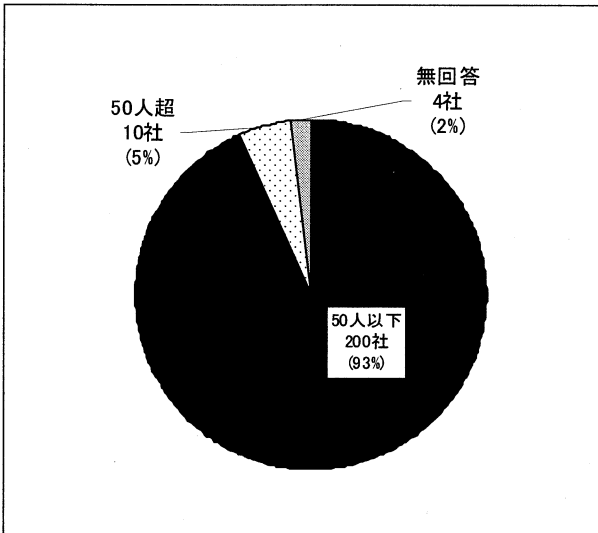
問 10 本社は横浜市内ですか 市外ですか



問 11 主たる事業所はどちらにありますか



問 12 問 11 の事業所の従業者数は何人ですか



問 13 資本金はおいくらですか

